



**3月
定例会**
2/23~3/21

平成29年度鴻巣市一般会計予算議決

審議議案

第6次鴻巣市総合振興計画によるまちづくりスタート

3月定例会は、2月23日から3月21日までの27日間の会期で開かれ、市長から提出された「平成29年度鴻巣市一般会計予算」など28件の議案について慎重審議し、すべての議案を原案のとおり同意・可決しました。

また、議員提出議案として2議案が上程され、そのうち1議案は可決しましたが、1議案は否決となりました。

平成29年度 会計別当初予算額 (単位：千円)

一般会計		35,150,000
特別会計	国民健康保険事業	15,064,000
	介護保険	7,783,000
	北新宿第二土地区画整理事業	525,000
	広田中央特定土地区画整理事業	254,000
	後期高齢者医療	1,191,000
	農業集落排水事業	126,000
	計	24,943,000
公営企業会計	水道事業会計	3,081,869
	下水道事業会計	4,731,922
	計	7,813,791
合計	67,906,791	

平成29年度一般会計予算の概要
平成29年度一般会計予算の総額は、351億5000万円となり、前年度との比較では、額として4億6200万円の増、率にして1.3%の増となります。

歳入は、法人市民税が、法人実効税率の引下げの影響により微減を、軽自動車税、固定資産税・都市計画税は、対象の適正把握などから増を見込み、地方交付税は、前年度普通交付税の実績などから、前年同額を見込んでいます。

歳出は、施設型給付費を受ける認定こども園等の施設数の増加に伴う特定教育・保育所等支援事業、地域医療体制の整備に要するための地域医療体制整備基金積立金、社会資本整備総合交付金を活用しての鴻巣駅東口駅通り地区市街地再開発事業の増を見込んでいます。

主 な 事 業 に 注 目

(単位：千円)

安全・安心に暮らせるまちづくり

- 鴻巣行田北本環境資源組合負担金 170,379
- 環境基本計画改定事業【新規】 7,985
- エコチェンジポイント鴻巣事業【新規】 227
- 高齢者運転免許自主返納サポート事業【新規】 30

いきいきと健康で充実した生活を過ごせるまちづくり

- 子育て世代包括支援センター事業【新規】 2,884
- 保育所費庶務事業【一部新規】 289,676
- 特定教育・保育所等支援事業【一部新規】 1,232,867
- こうのとりの助成金事業【一部新規】 7,450
- 婚活支援事業 1,150

子どもから大人まで、生涯にわたる学びと文化が根付くまちづくり

- 地域人材活用事業【一部新規】 13,197
- 児童生徒健康安全事業【一部新規】 87,470
- 中学校給食運営事業【一部新規】 334,598
- 図書館管理運営事業【一部新規】 251,377

住みたい・住んでよかったと思える快適なまちづくり

- 茜通り延伸整備事業【新規】 5,000
- 三谷橋大間線(2期工事)整備事業 164,009
- 鴻巣駅東口駅通り地区市街地再開発事業 774,271
- 元荒川【川の国埼玉はつらつプロジェクト】懇話会運営事業【新規】 175
- コウノトリの里づくり事業 6,853

賑わいと活力と魅力を創出できるまちづくり

- 労働支援事業 1,880
- 工業活性化事業 83,030
- 道の駅整備事業 3,105
- 荒川河川敷花いっぱい事業 18,710

市民協働による、一人一人が主役のまちづくり

- 自治会活動支援事業【一部新規】 43,415
- シティプロモーション推進事業【新規】 1,150
- 公共施設等マネジメント事業 76
- コンビニ交付事業【新規】 3,174

補正予算 ふるさと納税促進事業

問 都市部では赤字になっていますという話を聞くと、本市の収支の状況はどうか。また、ふるさと納税制度をどう考えているか。

答 本市は赤字になっています。本市のふるさと納税制度は平成20年度から始まり、27年度は701件ありました。本市へのふるさと納税額は、1169万5000円でしたが、返礼品等に537万6000円かかったため、差引歳入として631万8000円となりました。また、市民が市外へふるさと納税したことにより、市民税は3521万6000円減少しますが、このうち75%は国から普通交付税として交付されるので、ふるさと納税全体の市への影響額は理論上マイナス248万5000円となります。ふるさと納税を通じて、例えば梨や人形など、全国に鴻巣市はこんなまちであるとPRできます。今後とも引き続きふるさと納税制度を推進していきたいと考えています。

当初予算 定住促進事業

問 一日体験モニター事業業務委託料の具体的内容は。

答 人口減少に歯止めをかけるため、

本市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町、埼玉県東地域振興センターと共同事業として、体験モニターの募集等を委託するものです。5日間に行ったり、移転先を探している体験モニターが各地域の子育て施設等を見学します。ツイッターやフェイスブック等に情報を発信することで、それを見た人が転入候補地にすることを目的とし、さいたま市や東京都内在住の子育て世代をターゲットにしています。

当初予算 婚活支援事業

問 事業内容は。

答 マッチングシステムを活用して、婚活のまち鴻巣を目指し、婚姻率及び出生率の向上を図りたいと考えています。これまでも、社会福祉協議会や観光協会主催による婚活イベントがありました。観光をメインとしていました。今後は相性の良い人同士が出会える、小規模でお見合いのようなイベントを開催するなど、多方面において工夫をしていきたいと考えています。

条例の一部改正 川里保健センターの 廃止

問 廃止に至った経緯は。

答 川里保健センターは、利用者が少なく、平成20年度から職員の配置は行っていない。保健師等の資格を持った職員をどのように配置するか、また、職員の休暇等における勤務体制など、総合的に勘案したものです。

条例の一部改正 体育施設の利用料金 改定

問 総合体育館とコスモスアリーナふきあげの料金設定の根拠は。

答 コスモスアリーナふきあげの利用料金は、平成15年建設当時の近隣市町村の総合型体育館を参考に設定したものです。総合体育館は、35年前の開設時から料金改定を行わず、26年度の大規模改修を機に、コスモスアリーナふきあげとの料金調整を検討しました。一気にコスモスアリーナふきあげの料金に近づけることは理解が得難く、そこで、総合体育館の料金の2倍を超えない範囲で設定して、その金額にコスモスアリーナふきあげの利用料金を合わせたものです。なお、トレーニング室は、近隣の市町村では2時間単位の設定が多く、利用者からも2時間程度が妥当ではとの意見が多く寄せられていたこともあり、2時間200円としました。

補正予算 介護施設のロボット 導入補助

問 介護ロボットの種類や内容は。

答 3種類のロボットがあり、見守りをするロボットは、被介護者の部屋等にセンサーを設置し、ベッドからの離床のほか、心拍数や呼吸等がその場でわかるものです。動作を補助するマッスルスーツは、介護者の体に装着して、人や物を持ち上げたりする際に動作を補助するものです。コミュニケーションロボットは、介護専用のアプリをインストールして、介護者に代わって被介護者とコミュニケーションをとるロボットです。

補正予算 生活保護扶助事業

問 資産となる自宅を有しているが、現金がなく生活に困っている人への対応は。

答 65歳以上で概ね資産価値500万円以上の持ち家がある人については、リバースモーゲージという制度があります。この制度は、資産を活用して、本人が自宅で暮らし続けることができる制度です。

当初予算 111のとり助成金事業

問 不妊診断の条件と補助金額は。

答妻年齢43歳未満の夫婦を対象に不妊検査費2万円を上限に、一回助成します。また、不妊治療費の助成金を現行の9万円から10万円に戻すことを、検討しています。

当初予算 特色ある学校づくり事業

問 全校に平均して助成しているのか。
答 全校に助成していますが、一律ではなく、学校から要望や計画書等の提出を求め、教育委員会において事業内容を精査し、傾斜配分をつけています。

問 特色ある学校になっているか。
答 虫の飼育をしている学校、菊づくりをしている学校、N・Eといって新聞を教材として活用している学校など、特色ある教育活動を展開しています。

当初予算 小学生学力向上のために

問 小学3、4年生の算数に限定した理由は。
答 どの教科も身に付けた学習内容が、次の学びの基礎となりますが、特に算数は、前段階の学習が十分に身に付いていなければ、新たな学習内容を理解することが難しい教科と認識しています。特に小学3、4年生は、割り算、小数、分数など、高

学年の算数を理解するうえで、重要な基礎となる新たな学習内容が加わる学年となるためです。

問 学校図書館への人的支援は。
答 この事業は、平成26年度から2校で始まり、29年度までに18校、30年度には9校を追加し、すべての学校へ配置する予定です。

当初予算 図書館管理運営事業

問 介護現場で働く人材の確保は。
答 担い手養成研修を実施しており、平成28年度は、24人が市の認定した担い手として資格を取得しました。今後、各種事業所等へその方たちを紹介して、担い手となるよう取り組みます。

当初予算 介護保険事業

補正予算 29年度へ繰り越しする道路橋梁費

問 なのはな通りの拡幅にかかる用地買収は。また、登下校の交通安全対策は。
答 用地買収については、馬室小学校付近となります。また、同小学校の通学路については、中学校給食センター前を横断して同小学校に通う班が、現在4班あります。平成29年度

からは、拡幅により交通量がふえ危険なことから、3班は裏道を通ることとなります。残りの1班は変わりませんが、28年度に、赤白のポストコーンをグリーンベルト上に立て、既に安全対策を行っています。

問 近年、多く報道される高齢者の交通事故対策として、70才以上の運転免許証の自主返納者に対し、フラワー号の1年間無料乗車証を発行します。その後の対応については、フラワー号の運行見直しとあわせて検討していくこととなります。

当初予算 高齢者運転免許自主返納サポート事業

問 事業内容は。
答 近年、多く報道される高齢者の交通事故対策として、70才以上の運転免許証の自主返納者に対し、フラワー号の1年間無料乗車証を発行します。その後の対応については、フラワー号の運行見直しとあわせて検討していくこととなります。

当初予算 コミュニティバス「フラワー号」運営事業

問 地域公共交通の見直しの今後のスケジュールは。
答 見直しの行程については、既に、1回目の地域公共交通会議を開催し、見直しについて、詳しく調査・検討する業務を専門業者へ委託することを報告しました。この業務は、平成30年1月までとなっていることから、その内容をふまえ、29年度中に3回開催される同会議の中で、方

向性が打ち出されることになります。それに基づき、30年度に実証運行を行い、31年4月から、新しい形の地域公共交通が運行される予定です。

当初予算 元荒川「川の国埼玉はつらつプロジェクト」



コミュニティバス「フラワー号」

問 元荒川緑道整備事業について、県と連携して事業を行う目的は。
答 埼玉県では「川の再生」を目的として、今回、新たに「川の国埼玉はつらつプロジェクト」を市と連携し、吹上地域の元荒川で事業を進めていくものです。今回のプロジェクトの特徴は、これまでの単に川をきれいにすることを目的とするのではなく、地域振興に資する整備を行うもので、地元の観光資源、地域振興に寄与する事業を進めていくことを目的としています。

問 元荒川緑道整備事業について、県と連携して事業を行う目的は。
答 埼玉県では「川の再生」を目的として、今回、新たに「川の国埼玉はつらつプロジェクト」を市と連携し、吹上地域の元荒川で事業を進めていくものです。今回のプロジェクトの特徴は、これまでの単に川をきれいにすることを目的とするのではなく、地域振興に資する整備を行うもので、地元の観光資源、地域振興に寄与する事業を進めていくことを目的としています。

当初予算 鳥害対策

問 毎年、鳥害対策として、約290万円の予算が計上されているが、その内容は。また、対策の1つとして猛禽類を導入してはどうか。

答 ムドリ対策としては、街路樹の剪定を中心に予算計上をしていますが。鴻巣駅東口の駅前ロータリーのケヤキについては、ししおどしのように一定の時間がたつと、音の鳴るものを枝に設置しており、一定の効果が表れているところです。しかし、電線にとまるムドリについては、これらの対応が難しいことから、猛禽類を使用したムドリ対策については、調査研究を続けていきたいと考えています。

補正予算 個人番号・住基ネット トワーク事業

問 市民はマイナンバーカード作成に慎重になっていると思うが、市はどのように申請を促進していくのか。

答 申請者数は1月末現在1万3255人、住民人口割で11・11%です。交付数は1万931人で、住民の9・16%となっています。今後の促進等として、マイナンバーとマイナンバーカードの違い、活用の仕方の

違いを窓口等で丁寧に説明しています。また、民間も含めてマイナンバーカードを幅広く活用する際には、マイナンバーつまり番号自体は利用しませんので、安全・安心であるということも伝えていきます。さらに本人確認書類としても使え、顔写真入りの公的身分証明書にもなるため、免許証、パスポートを持っていない方にも活用していただけます。また、マイナンバーカードがあれば、本年10月から開始する住民票の写し、戸籍証明書等のコンビニ交付が午前6時30分から午後11時の間で利用できるなどの利点を伝え、申請を促しています。

当初予算 花と音楽の館かわさとの 来館状況は

問 花と音楽の館かわさとについては、新たに地域食材ふれあい工房や地場産センター、ローズガーデンやローズオーナーガーデン制度ができたが、どの程度の来館効果があったのか。

答 平成29年2月現在で、4月からの総来館者数は9万7857人で、前年同月と比較すると1万7000人増加しています。年度末には前年よりも約1万3000人多い来館者数になると見込まれます。また、びっく

りひな祭りも好調で、前年と比較すると3500人ほどふえていますので、リニューアル効果が出ていると考えています。

当初予算 花のまちに関する観 光戦略は

問 花のまちを標榜して、いろいろな施策があるが、ことし一番の売り、新しい観光戦略は。

答 まず一つの目玉として、こつのはなまつりについて、平成29年度大幅に変更し、せせらぎ公園の会場をとりやめ、馬室のポーピー畑、吹上のポーピー畑、花久の里のバラの3カ所を拠点として展開していきます。今回初めて吹上方面から花久の里行きのシャトルバスも運行予定です。せせらぎ公園で行っていたイベントは、コスモスアリーナ、吹上会場へ場所を移して行う予定です。もう一つの目玉は、5月の中旬に上野駅で花まつりに関するキャンペーンを行う予定です、現在JRと協議中です。さらに、1月29日、鴻巣御殿の模型が完成し、1日1000人程見学者が訪れ、マスコミ等の取材もあります。今後、鴻巣御殿の模型を題材としたイベントができないか、現在検討中です。

意見書

議員提出議案第1号

無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進を求める意見書
(原案可決)

無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進を求める意見書(抜粋)

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、通信環境の整備、取り分け無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備は喫緊の課題となっています。無料公衆無線LAN環境の整備促進は、インバウンドの更なる増加だけでなく、防災拠点となる公共施設等の災害時における通信手段の確保にも大きく貢献することから、以下の項目について強く要望します。

記

- 1 公共交通機関や宿泊施設等の民間施設に対する無料公衆無線LAN環境の整備支援事業の拡充
- 2 国立公園等の観光拠点や観光案内所における無料公衆無線LAN環境の整備促進・機能の向上や利便性の向上
- 3 防災の観点から、被災場所として想定される公的拠点への無料公衆無線LAN環境の整備を行う地方公共団体に対する財政的支援措置の導入

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成29年3月21日

内閣総理大臣 殿 総務大臣 殿 国土交通大臣 殿

鴻巣市議会